

学校関係者評価結果と今後の改善方策

1 学校関係者評価結果

(4 : とてもそう思う 3 : 少しそう思う 2 : あまりそう思わない 1 : まったく思わない)

番号	評価項目	評価結果(平均)
1	学校の教育目標は適切である。	3.6
2	「意欲を持って、粘り強く考える子」を踏まえた教育活動を展開し、成果がみられた。	3.3
3	「様々な他者と積極的にかかわり、認められることで集団の一員としての自信を持つ子」を踏まえた教育活動を展開し、成果がみられた。	3.3
4	「運動に親しみ望ましい生活習慣を身につける子」を踏まえた教育活動を展開し、成果がみられた。	3.3
5	保護者や児童アンケート、教職員による評価の結果を踏まえた今後の改善方策は適切である。	3

2 今後の改善方策

学校関係者評価委員会では、3.0以上というおおむね肯定的な評価をいただきました。ご意見として、「学習面で実施してきたことが数値となって表れていてよい。」「児童数は多くないが、上の学年の様子を見て『こうなりたい』という姿になって活躍している場面が見られた。」「登下校時に、きゃしゃだと思って見ていた子どもが布施まつりやなわとび集会などの行事の際に、力強さを感じさせられたり、努力していることが分かる作品の展示があったりと、驚かされる姿を見ることができてよかった。」などを挙げていただきました。

また「結果を出すことは難しい、しかしそこに向かって努力する姿を評価できればよいのだと思う。」「「普段と違った一面が見られた。個々の能力の基礎になってきていると思います。」と、結果ではなく、過程を評価くださったご意見もありました。

次年度も、アンケートや自己評価の項目を、学校教育目標の重点を中心に、年2回実施する予定です。その他に、改善に向けて、以下のような点に取り組んでいきたいと思っております。

- ・「自ら問題を見だし、他者と情報交換しながら追究する児童」については、児童を主体とした授業づくりをさらに深めるとともに、「自分のよさをわかる場面」をつくってあげます。そのためには、毎時間の授業を大切に、「わかる授業」の充実を図っていきます。授業力向上に努め、発達段階に応じた読書活動の充実により、すべての学習の基となる論理的思考力を高めるよう、研修を積むようにいたします。

- ・「互いの個性を大切にし合い、よさを認め合う児童」については、自己有用感を育むために、行事を実行委員が中心となって計画運営することも継続していくとともに、縦割り活動も合わせて継続していきます。また、仲間との活動だけでなく、個を生かせる活動、双方の活動で、それぞれのよさを引き出してあげられるような場を設定します。それは、生活面だけでなく学習面、運動面などすべての場面につながり、心の充実を図ると同時に、これまで以上に「認め合える」手立てをとっていきます。
- ・「運動に親しみ、望ましい生活習慣を身に付ける児童」については、引き続き自由遊びの時間を、45分間にわたる昼休みの時間で確保するとともに、外遊びを推奨して教科体育だけでなく体力面での向上を図ります。さらに、学校保健委員会の活性化の継続によりむし歯治癒率の向上を目指します。また、元気のよい明るい挨拶ができ、落ち着いて学校生活が送れるように声かけを行い、児童一人一人を大切にしていきたいと考えています。

布施小学校の素晴らしい環境や、人材に恵まれた地域のよさを生かし、今後も積極的な教育活動を行っていきたいと思います。そのためには、学校だけでなく家庭や地域の協力も必要不可欠です。「頑張れる」「自信を持てる」ように教師が一人一人をよく見て理解し、それを受け止めて大人になっていけるよう、応援してあげる体制を整えていきます。少人数の布施小学校だからこそ、保護者の願いを受け止め、保護者・地域の方々との情報交換や意志の疎通を図りながら、全児童を全職員で見守り育てる教育活動を行っていきたいと思います。